

2022年 1 月30日実施

令和 3 年度 (第 66 回)
情報処理検定試験
〈ビジネス情報部門〉
第 1 級 試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は11ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は60分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受 験 番 号

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、5. については数値を答えなさい。

1. RASISが示す指標の一つで、システムやデータが外部からの改ざんや不正利用されにくいことを示す指標。

ア. 安全性

イ. 完全性

ウ. 可用性

2. システム開発において、前工程で定義された内容をもとに、動作や処理の流れを図を用いるなどして詳細に定義する工程。

ア. 基本設計

イ. プログラミング

ウ. プログラム設計

3. 「電子レンジを使用する際、扉が開いた状態で作動させようとしても作動しないようにする」など、間違った方法で操作しても、障害が起こらないようにする設計思想。

ア. フェールセーフ

イ. フールプルーフ

ウ. フェールソフト

4. 1画面が350,000画素で、24ビットカラーを同時に表示できるPCの画面全体を使って、1秒あたり30画面のカラー動画を再生表示させる。このとき、20分間に表示される画像のデータ量はいくつか。なお、データは圧縮しないものとする。ただし、1GB=10⁹Bとする。

ア. 5.04GB

イ. 37.8GB

ウ. 302.4GB

5. 200Mbpsの通信回線を使用し、2.1GBのデータを転送するのに150秒かかった。この通信回線の伝送効率を求めなさい。なお、その他の外部要因は考えないものとする。ただし、1GB=10⁹Bとする。

【4】 次の各問いに答えなさい。

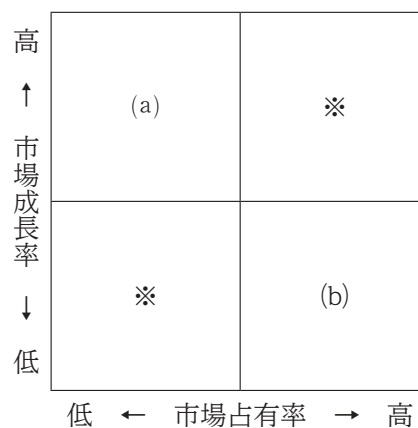
問1. 次の表は、データベースシステムにおいて、トランザクションA～Cが、資源X～Zに対して掛けるロックを示したものである。トランザクションA～Cのうち、一つのトランザクションを開始した直後にもう一つのトランザクションを開始した。この際、資源の解放待ちが発生しないものとして適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、資源へのロックは、トランザクションの開始と同時に掛けられる。

	資源X	資源Y	資源Z
トランザクションA	共有ロック	ロックなし	占有ロック
トランザクションB	共有ロック	占有ロック	ロックなし
トランザクションC	占有ロック	共有ロック	ロックなし

- ア. トランザクションAを開始した直後に、トランザクションCを開始
 イ. トランザクションBを開始した直後に、トランザクションAを開始
 ウ. トランザクションCを開始した直後に、トランザクションAを開始

問2. PPM分析では、次の図のように、市場成長率と市場占有率から四つに区分し、製品の市場における位置付けを分析して資源配分を検討する。四つの区分のうち、(a)、(b)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 金のなる木
 イ. 花形
 ウ. 問題児
 エ. 負け犬



(注) ※印は、表記を省略している。

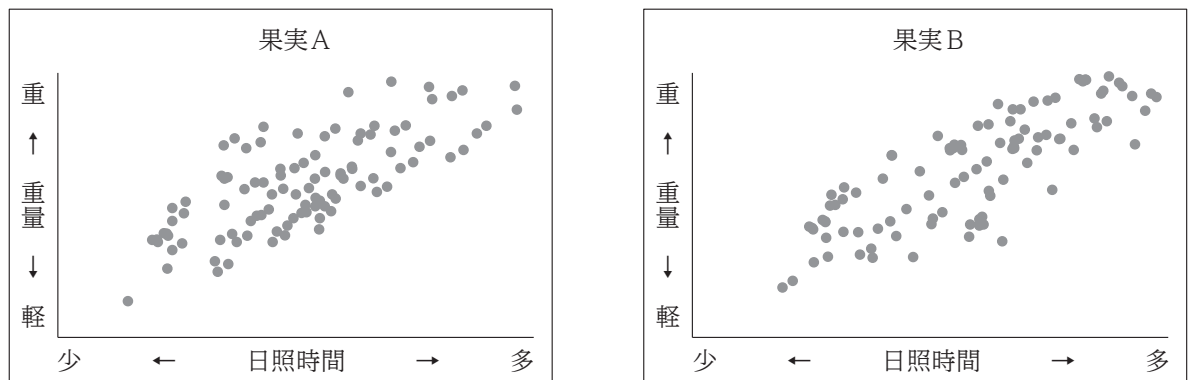
問3. 次のようなネットワーク設定がされているコンピュータA～Eについて、コンピュータAとネットワークアドレスが同一となるコンピュータとして適切なものを選び、記号で答えなさい。なお、コンピュータA～Eのサブネットマスクには、255.255.248.0 が設定されている。

コンピュータAのIPアドレス設定 : 192.168.150.83

コンピュータ	IPアドレス
コンピュータB	192.168.122.136
コンピュータC	192.168.144.52
コンピュータD	192.168.162.225
コンピュータE	192.168.237.140

- ア. コンピュータB イ. コンピュータC ウ. コンピュータD エ. コンピュータE

問4. 次の図は、果実Aと果実Bについて、生育時の日照時間と果実の重量をプロットしたものである。これらの散布図について述べられた文章として適切なものを選び、記号で答えなさい。なお、果実Aの相関係数は、0.75、果実Bの相関係数は、0.81であった。



- ア. 果実Aと果実Bは、どちらも負の相関がみられるので、一つの散布図にする必要がある。
- イ. 果実Aと果実Bは、果実の重量が軽い場合、日照時間が多いといえる。
- ウ. 果実Aと果実Bは、どちらも日照時間と果実の重量に、高い相関があるといえる。

問5. ERPを説明している次の文章のうち適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 企業が持つ人材、資金、設備、情報など様々な資源を一元的に管理することにより、非効率な部分を排除したり、互いに関連する業務を連携したりするなど、経営の最適化や業務の効率化を目指す手法。
- イ. 企業が持つ顧客の属性や履歴を記録・管理し、顧客へのきめ細かい対応を行う体制を整え、顧客との良好な関係を築き、維持することで、顧客満足度の向上につなげるための手法。
- ウ. 企業における長期的事業戦略や品質管理など、全ての企業活動にかかわる既存の組織や業務の構造を抜本的に見直し、業務の流れを新たに再構築すること。

- 【5】 ある文化会館では、会場の利用データを次のようなリレーショナル型データベースを利用し管理している。次の各問いに答えなさい。

処理の流れ

- ① 新規の会場利用者は登録手続きを行い、主催者表にデータを入力する。
- ② 会場表の基本料金は、各会場を 全日 利用した場合の料金である。
- ③ 時間帯表の割合は、全日利用した場合の料金を基準としており、利用金額を計算する際、会場表の基本料金を時間帯表の割合を掛けて求める。
- ④ 会場利用表は、受付のあった日の一つの時間帯の一つの会場につき、1レコードずつ作成される。例えば、同一日に二つの時間帯で同一の会場を利用する場合や、同一の時間帯で二つの会場を利用する場合は、2レコード作成される。

主催者表

主催者番号	主催者名	電話番号
}	}	}
11	〇〇交響楽団	XX-XXXX-XXXX
12	〇〇小学校	XX-XXXX-XXXX
}	}	}
43	町づくり〇〇	XX-XXXX-XXXX
44	ピアノ教室〇〇	XX-XXXX-XXXX
}	}	}
120	〇〇音楽教室	XX-XXXX-XXXX
121	〇〇落語会	XX-XXXX-XXXX
}	}	}

会場表

会場コード	会場名	基本料金
LH	大ホール	300000
SH	小ホール	200000
WR1	控室1	10000
WR2	控室2	8000
WR3	控室3	5000
WR4	控室4	4000
MR1	会議室1	20000
MR2	会議室2	10000
MR3	会議室3	5000
RE1	リハーサル室1	50000
RE2	リハーサル室2	30000
RE3	リハーサル室3	20000

時間帯表

時間帯コード	時間帯	割合
AL	全日	1.0
AM	午前	0.3
PM	午後	0.5
NI	夜間	0.4

会場利用表

日付	時間帯コード	会場コード	主催者番号
2021/04/01	NI	MR1	1
2021/04/01	AL	MR2	2
}	}	}	}
2022/01/23	AM	RE1	11
2022/01/23	PM	RE1	11
}	}	}	}
2022/02/10	NI	MR2	44
2022/02/11	PM	LH	57
2022/02/11	PM	RE1	57
}	}	}	}

- 問1. 会場利用表の主キーとして適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、主キーは、必要最低限かつ十分な条件を満たしていること。

- ア. 日付と時間帯コード
 イ. 日付と会場コード
 ウ. 日付と時間帯コードと会場コード

- 問2. 大ホールの利用を受け付けた主催者の主催者番号と主催者名を重複なく抽出する。次のSQL文の空欄をうめなさい。

```
SELECT   A.主催者番号, 主催者名
FROM    主催者表 A, 会場利用表 B
WHERE   A.主催者番号 = B.主催者番号
AND     会場コード = 'LH'
```

主催者番号	主催者名
}	}
12	〇〇小学校
30	〇〇オーケストラ
57	イベント会社〇〇
}	}

問3. リハーサル室ごとの利用を受け付けた利用数を抽出する次のSQL文を作成した。このSQL文の(a)の部分を変更した場合、同等の結果が得られないものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 会場名, COUNT(*) AS 利用数
FROM 会場表 A, 会場利用表 B
WHERE A.会場コード = B.会場コード
      AND B.会場コード LIKE 'RE_' ←(a)
GROUP BY 会場名
```

会場名	利用数
リハーサル室1	287
リハーサル室2	172
リハーサル室3	229

- ア. AND B.会場コード BETWEEN 'RE1' AND 'RE3'
- イ. AND B.会場コード LIKE '%R%'
- ウ. AND B.会場コード IN ('RE1', 'RE2', 'RE3')

問4. 2022年1月23日の利用に対する、主催者名と主催者ごとの利用金額の合計を抽出する。次のSQL文の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

```
SELECT 主催者名, [ ] AS 利用金額
FROM 主催者表 A, 会場表 B, 時間帯表 C, 会場利用表 D
WHERE A.主催者番号 = D.主催者番号
      AND B.会場コード = D.会場コード
      AND C.時間帯コード = D.時間帯コード
      AND 日付 = '2022/01/23'
GROUP BY 主催者名
```

主催者名	利用金額
〇〇商工会議所	183200
〇〇交響楽団	78400
町づくり〇〇	16000
〇〇高校	2500

- ア. SUM(基本料金 * 割合)
- イ. SUM(基本料金) * SUM(割合)
- ウ. SUM(基本料金) * 割合

問5. 2022年2月1日から、次の主催者が統合されることになり、データを1件に集約することとした。次の手続きのうちデータベースに対して行う操作として適切なものを選び、記号で答えなさい。

統合前	主催者番号 44	主催者名 ピアノ教室〇〇	電話番号 XX-XXXX-XXXX
	主催者番号 120	主催者名 〇〇音楽教室	電話番号 XX-XXXX-XXXX
統合後	主催者番号 120	主催者名 〇〇音楽教室	電話番号 XX-XXXX-XXXX

- ア. 会場利用表から主催者番号 44 のレコードを削除する。
- イ. 主催者表に主催者番号 120 のレコードを追加する。
- ウ. 2022年2月1日以降の主催者番号 44 の利用状況を会場利用表から抽出する。利用の予定がある場合は、主催者番号を 120 に更新する。

【6】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、ある学校の通学状況一覧表である。J8は、「学年」が3でかつ「地区」がB地区の「距離(キロ)」の平均を表示し、同じ条件でK8に「時間(分)」の平均を表示する。J8に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をK8までコピーする。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	通学状況一覧表										
2	学科	学年	組	生徒名	地区	距離(キロ)	時間(分)	通学方法	集計条件		
3	普通科	1	1	相田 ○○	A地区	16	50	電車	学年	地区	
4	普通科	1	1	阿相 ○○	B地区	20	60	電車	3 B地区		
5	普通科	1	1	池田 ○○	A地区	12	45	バス	集計結果(平均)		
6	普通科	1	1	内海 ○○	D地区	9	30	自転車	距離(キロ)	時間(分)	
7	普通科	1	1	江藤 ○○	B地区	20	65	電車	17.3 45.4		
8	普通科	1	1	江藤 ○○	B地区	20	65	電車			
161	普通科	2	1	新井 ○○	C地区	1	15	徒歩			
465	商業科	3	4	依田 ○○	C地区	2	10	自転車			

=(\$A\$3:\$H\$465,J7,\$J\$3:\$K\$4)

ア. AVERAGEIFS

イ. SUMIFS

ウ. DAVERAGE

問2. 次の表は、ある家具メーカーのスチールラック商品コード一覧表である。「コード」を「新コード」のように変換して新しく設定する。C4に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をC8までコピーする。

	A	B	C
1	スチールラック商品コード一覧表		
2	商品名	コード	新コード
3	スチールラック (2段A型)	SST02RA	STR-2SA
4	スチールラック (2段B型)	SST02RB	STR-2SB
5	スチールラック (3段A型)	SST03RA	STR-3SA
6	スチールラック (3段B型)	SST03RB	STR-3SB
7	スチールラック (4段)	SST04R	STR-4S

ア. =SUBSTITUTE(SUBSTITUTE(B4,"STO","TR-"),"R","S",1)

イ. =SUBSTITUTE(SUBSTITUTE(B4,"STO","TR-"),"R","S",2)

ウ. =SUBSTITUTE(SUBSTITUTE(B4,"TO","TR-"),"R","S",1)

問3. 次のシート名「スマートフォンスペック検索表」は、「型番」をもとに、シート名「スマートフォンスペック一覧表」を参照し、「ディスプレイ」から「通信」まで表示する。シート名「スマートフォンスペック検索表」のA8に設定する次の式の空欄をうめなさい。ただし、この式をE8までコピーする。

シート名「スマートフォンスペック検索表」

	A	B	C	D	E
1	スマートフォンスペック検索表				
2	型番	GS53BS			
3	スマートフォンスペック				
4	ディスプレイ	バッテリー容量	内蔵RAM	内蔵ROM	通信
5	6.5インチ	4,500mAh	8GB	256GB	5G

シート名「スマートフォンスペック一覧表」

	A	B	C	D	E	F
1	スマートフォンスペック一覧表					
2	型番	ディスプレイ	バッテリー容量	内蔵RAM	内蔵ROM	通信
3	GS52B	6.2インチ	4,200mAh	8GB	128GB	5G
4	GS53BS	6.5インチ	4,500mAh	8GB	256GB	5G
5	GS54C0	4.3インチ	4,000mAh	6GB	128GB	5G
6	GS42A	5.8インチ	3,800mAh	3GB	64GB	4G

=VLOOKUP(\$B\$4,スマートフォンスペック一覧表!\$A\$4:\$F\$20,(A7)+1,FALSE)

問4. 次の表は、レンタルカヌー利用時間一覧表である。E4には、次の式が設定されている。E4に表示される適切な値を答えなさい。

=MEDIAN(B4:B14)

	A	B	C	D	E
1					
2	レンタルカヌー利用時間一覧表				
3	貸出番号	利用時間(分)		平均値	61.1
4	R3011501		43	*	*
5	R3011502		49		
6	R3011503		46		
7	R3011504		58		
8	R3011505		53		
9	R3011506		55		
10	R3011507		72		
11	R3011508		68		
12	R3011509		69		
13	R3011510		75		
14	R3011511		84		

(注) *印は、値の表記を省略している。

問5. 次の表は、ある野菜販売店の仕入れシミュレーション表である。次の条件から、仕入予算の120,000円を効果的に利用するため、各野菜の「仕入個数」を求めたい。表計算ソフトウェアの分析機能に設定する空欄(a)、(b)にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

条件

- ・ B17からB19の「仕入単価」は「単価見通し」の表示により、直近3日間の仕入単価の最大を用いて、次のように求める。
弱い の場合、最大を表示。
横ばい の場合、最大に2円足して表示。
強い の場合、最大に4円足して表示。
- ・ D17は次の式を入力し、D19までコピーする。
=B17*C17
- ・ C20は次の式を入力し、D20までコピーする。
=SUM(C17:C19)
- ・ ほうれん草とキャベツは220個以上、白菜は290個以上を仕入れる。

	A	B	C	D	E
1					
2	野菜の仕入れシミュレーション表				
3	直近3日間の野菜販売個数状況				
4	野菜名	1月18日	1月19日	1月20日	平均
5	ほうれん草	211	215	208	211
6	キャベツ	189	178	182	183
7	白菜	240	251	262	251
8					
9	直近3日間の仕入単価と単価見通し				
10	野菜名	1月18日	1月19日	1月20日	単価見通し
11	ほうれん草	142	140	139	弱い
12	キャベツ	127	126	127	横ばい
13	白菜	188	192	194	強い
14					
15	1月21日の仕入計画 (予算120,000円)				
16	野菜名	仕入単価	仕入個数	仕入金額	
17	ほうれん草	142	0	0	
18	キャベツ	129	0	0	
19	白菜	198	0	0	
20		合計	0	0	



実行結果

	A	B	C	D	E
15	1月21日の仕入計画 (予算120,000円)				
16	野菜名	仕入単価	仕入個数	仕入金額	
17	ほうれん草	142	222	31,524	
18	キャベツ	129	230	29,670	
19	白菜	198	297	58,806	
20		合計	749	120,000	

- ア. (a) \$C\$17:\$C\$19
(b) \$C\$17:\$C\$18 >= 220
- イ. (a) \$C\$17:\$C\$19
(b) \$C\$17:\$C\$19 <= 220
- ウ. (a) \$D\$17:\$D\$19
(b) \$C\$17:\$C\$18 >= 220

パラメーター設定

目的セルの設定:

目標値: 最大値 最小値 指定値

変数セルの変更:

制約条件の対象:

= 整数

>= 290

【7】 次の表は、ある健康ランドの利用料金計算表である。作成条件および作成手順にしたがって、各問いに答えなさい。

シート名「利用料金計算表」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	利用料金計算表								
2									
3									
4	1. 利用情報								
5				入力欄			確認欄		
6	大	子	も	人	数	7	利	用	人
7	ど						数		7
8									
9				利用月の休館			営業開始		
10	利	用	日	2022/1/30	2022/1/20	2:00	～	2022/1/21	10:00
11									
12	入	館	時	刻	23:00	OK			
13									
14	利	用	コ	ー	ド	3AN	利	用	コ
15							ー	ス	プ
16							ラ	ン	
17							ン	3	時
18							間	コ	ー
19							ス	ー	A
20							プ	ラ	ン
21							ラ	ン	あり
22							ン	通常	日
23							深	夜	利
24							用	料	
25							滞	在	可
26							能	時	刻
27							翌	日	5:00
28	レ	ン	タ	ル	品	数	量	料	金
29	館	内	着					¥200	/
30	タ	オ	ル	セ	ツ			¥200	/
31	バ	ス	タ	オ	ル	3		¥150	/
32	フ	ェ	ィ	ス	タ	オ	ル	¥100	/
33									450
34									300
35	個	室	利	用	5	人	部	屋	個
36									室
37									利
38									用
39									料
40									13,200
41	2. 料金計算								
42	入	館	料	4,900					
43	深	夜	利	用	料	7,000			
44	レ	ン	タ	ル	品	料	750		
45	個	室	利	用	料	13,200			
46	合	計	金	額	25,850				

シート名「入館料金表」

	A	B	C
1	入館料金表		
2	プラン	Aプラン	Bプラン
3	\	タオルセットなし	タオルセットあり
4	コース	館内着なし	館内着あり
5	1日コース	1,500	1,900
6	3時間コース	700	900

シート名「特定日表」

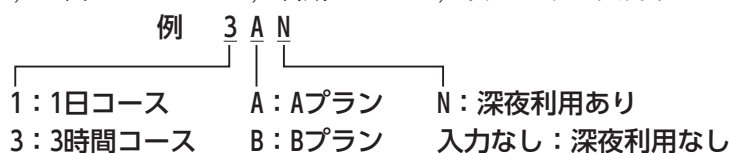
	A	B	C
1	特定日表		
2	期間		
3	2022/1/1	～	2022/1/10
4	2022/2/11	～	2022/2/13
5	2022/3/19	～	2022/3/21
6	2022/4/29	～	2022/5/8
7	2022/8/11	～	2022/8/15
8	2022/9/17	～	2022/9/19
9	2022/9/23	～	2022/9/25
10	2022/10/8	～	2022/10/10
11	2022/12/29	～	2022/12/31

シート名「個室利用料金表」

	A	B	C
1	個室利用料金表		
2	利用人数	4人部屋	5人部屋
3	1	5,500	6,600
4	2	3,300	3,900
5	3	2,600	3,000
6	4	2,200	2,500
7	5		2,200
8	(一人あたり)		

作成条件

- シート名「利用料金計算表」の入力欄に適切なデータを順に入力すると、合計金額を求めることができる。なお、入力欄は、太罫線で囲われており、確認欄は、関数や数式が設定されたセルである。
- 入力欄に入力された値が適切でない場合や、コードが参照する表にない場合、確認欄に NG を表示し、入力欄が未入力の場合、確認欄に何も表示しない。また、確認欄が空欄または NG の場合、その次の入力項目以降の確認欄に何も表示しない。ただし、レンタル品と個室利用は、利用のない場合は、未入力となり、それに対応する確認欄は空欄となる。
- 利用人数は、大人と子どもを合わせて10以下とする。ただし、子どものみでの利用はできない。また、子どもの利用のない場合は、未入力の場合がある。
- 営業時間は、24時間営業である。ただし、入館の受け付けは、5:00からであり、0:00以降の入館は受け付けない。
- 休館は、毎月第3木曜日の2:00からで、翌日10:00から営業を開始する。
- 入館料は、5:00から翌日2:00まで利用可能な「1日コース」と3時間利用可能な「3時間コース」の2コースで、それぞれに「Aプラン」(タオルセットなし、館内着なし)と「Bプラン」(タオルセットあり、館内着あり)がある。また、2:00から5:00までの利用料金(深夜利用料)は、入館日が、通常日の場合、1,000円であり、特定日の場合、1,300円である。なお、利用コードは、次のように入力する。



- 個室は、4人部屋(定員4人)と5人部屋(定員5人)があり、利用者一人あたりの利用料は、シート名「利用料金計算表」の「利用人数」により、シート名「個室利用料金表」の料金である。また、部屋定員を超えた利用の場合、超過人数の一人あたりの料金は、1,100円である。

例 利用人数 7人 5人部屋の場合

$$2,200円 \times 5人 + 1,100円 \times 2人 = 13,200円$$

- 深夜利用料とシート名「入館料金表」の料金は、大人料金であり、子どもは半額である。

作成手順

- シート名「利用料金計算表」は、次のように作成されている。
 - D6は、「大人」の人数、D7は、「子ども」の人数を入力する。
 - I6は、「大人」と「子ども」の合計を求める。ただし、作成条件3を満たしていない場合、NG を表示する。
 - D10は、「利用日」を入力する。
 - G10は、利用月の休館開始日時を表示し、I10は、休館明けの、営業開始日時を表示する。
 - D12は、「入館時刻」を入力する。また、I12は、入館可能の場合、OK、それ以外の場合、NG を表示する。
 - D14は、「利用コード」を入力する。また、I14は、利用コースプランを表示し、I15は、深夜利用ありの場合、あり、深夜利用なしの場合、なし を表示する。
 - I16は、「深夜利用」が、あり の場合、「利用日」をもとに、シート名「特定日表」を参照し、利用日が、特定日の場合、特定日、それ以外の場合、通常日 を表示し、「深夜利用」が、あり 以外の場合、何も表示しない。
 - I17は、滞在可能時刻を表示する。
 - D20~D23は、レンタル品の数量を入力する。また、I20~I23は、レンタル品の料金を表示する。
 - D25は、4人部屋を利用する場合、4、5人部屋を利用する場合、5 を入力する。
 - I25は、I6とD25およびE25をもとに、シート名「個室利用料金表」を参照し、作成条件7にしたがって、利用人数分の料金を求める。
 - D28は、D6とD7とI14をもとに、シート名「入館料金表」を参照し、入館料を求める。
 - D29は、D6とD7とI15とI16をもとに、作成条件6にしたがって、深夜利用料を求める。
 - D30は、I20~I23の合計を求める。
 - D31は、I25を参照して表示する。
 - D32は、D28~D31の合計を求める。

「問題を読みやすくするために、
このページは空白にしております。」

問1. シート名「利用料金計算表」のI6に設定する次の式の空欄(a), (b)にあてはまる適切な組み合わせを選び、記号で答えなさい。

$$=IF([\text{空欄(a)}], "", IF([\text{空欄(b)}], D6+D7, "NG"))$$

- ア. (a) AND(D6="", D7="") (b) AND(D6>0, D6+D7<=10)
- イ. (a) OR(D6="", D7="") (b) OR(D6>0, D6+D7<=10)
- ウ. (a) D7="" (b) D6+D7<=10

問2. シート名「利用料金計算表」のG10に設定する次の式の空欄をうめなさい。

$$=IF(OR(I6="", I6="NG", D10=""), "", D10-DAY(D10)-MOD(WEEKDAY(D10-DAY(D10)), 1)+2, 7)+[\text{空欄}]+TIME(2, 0, 0))$$

(注) WEEKDAY関数の第2引数が1の場合、戻り値として、1(日曜日)～7(土曜日)を返す。

問3. シート名「利用料金計算表」のI16に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び、記号で答えなさい。

$$=IF(I15="あり", IF([\text{空欄}], "特定日", "通常日"), "")$$

- ア. AND(D10>=MATCH(D10, 特定日表!A4:A12, 1), D10<=MATCH(D10, 特定日表!C4:C12, 1))
- イ. AND(D10<=VLOOKUP(D10, 特定日表!A4:A12, 1, TRUE), D10<=VLOOKUP(D10, 特定日表!C4:C12, 1, TRUE))
- ウ. D10<=VLOOKUP(D10, 特定日表!A4:C12, 3, TRUE)

問4. シート名「利用料金計算表」のI25に設定する次の式の空欄(a), (b)をうめなさい。

$$=IF(OR(I17="", I17="NG", D25=""), "", IFERROR(MIN([\text{空欄(a)}], [\text{空欄(b)}]) * INDEX(個室利用料金表!B4:C8, MIN([\text{空欄(a)}], [\text{空欄(b)}]), MATCH(D25&E25, 個室利用料金表!B3:C3, 0)) + MAX(0, ([\text{空欄(a)}] - [\text{空欄(b)}])) * 1100, "NG"))$$

問5. シート名「利用料金計算表」が次のように表示されているとき、D32に表示される適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 29,000
- イ. 30,100
- ウ. 31,400

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	利用料金計算表								
2									
3									
4	1. 利用情報								
5				入力欄			確認欄		
6	大	人		4	利	用	人	数	※
7	子	ど	も	2					
8									
9				利用月の休館			営業開始		
10	利	用	日	2022/2/11	2022/2/17 2:00 ~			2022/2/18 10:00	
11									
12	入	館	時	刻	9:00	OK			
13									
14	利	用	コ	ー	ド	IBN	利	用	コ
15							ル	ス	プ
16							ラ	ン	※
17							ン	※	※
18							深	夜	利
19							用	料	※
20							料	※	※
21							レ	ン	タ
22							ラ	ル	品
23							料	※	※
24							レ	ン	タ
25							ル	品	料
26							料	※	※
27							レ	ン	タ
28							ル	品	料
29							料	※	※
30							レ	ン	タ
31							ル	品	料
32							料	※	※

(注) ※印は、値の表記を省略している。

(令和4年1月30日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和3年度(第66回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級

解答用紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5
					%

小計	
----	--

【4】	問1	問2		問3	問4	問5
		(a)	(b)			

【5】	問1	問2	問3	問4	問5

小計	
----	--

【6】	問1	問2	問3	問4	問5

【7】	問1	問2	問3	問4		問5
				(a)	(b)	

小計	
----	--

試験場校名	受験番号

得点合計

(令和4年1月30日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和3年度(第66回)情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5
	イ	サ	カ	キ	ケ

【2】	1	2	3	4	5
	ク	ア	コ	エ	カ

【3】	1	2	3	4	5
	ア	ウ	イ	イ	56 %

各2点
15問

小計	30
----	----

【4】	問1	問2		問3	問4	問5
		(a)	(b)			
	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア

【5】	問1	問2	問3	問4	問5
	ウ	DISTINCT	イ	ア	ウ

各3点
10問

小計	30
----	----

【6】	問1	問2	問3	問4	問5
	ウ	イ	COLUMN	58	ア

【7】	問1	問2	問3	問4		問5
				(a)	(b)	
	ア	21	ウ	I6	D25	イ

- ※ 複数解答問題は、問ごとにすべてができて正答とする。
- ※ 記述問題の大文字、小文字は問わない。

各4点
10問

小計	40
----	----

得点合計

100